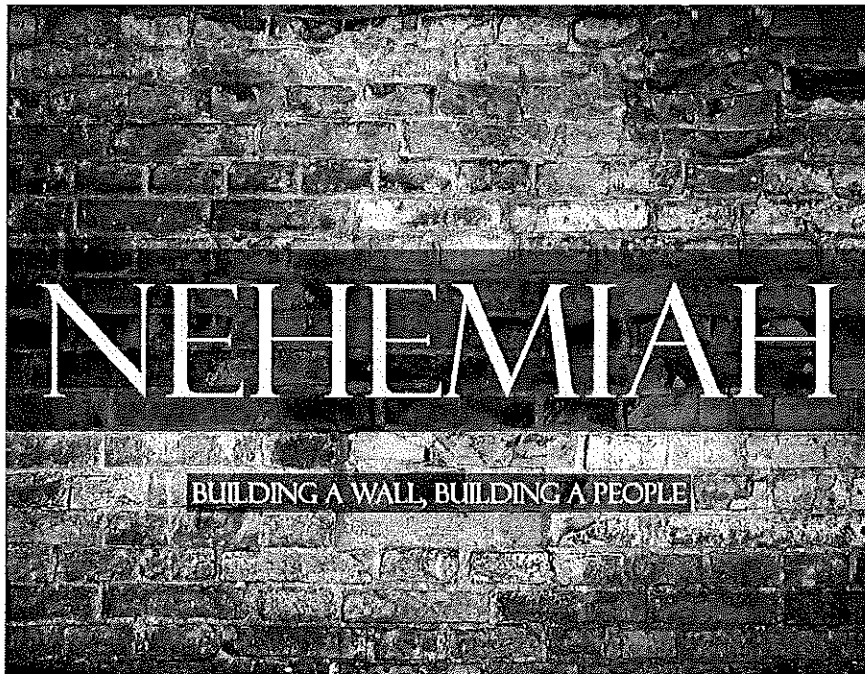


QT シリーズ

ネヘミヤ書



東京キリストの教会

2018年1月

ネヘミヤ書 QT シリーズ

<一週目：ネヘミヤ1章～3章、ネヘミヤの悔い改め、祈り、覚悟>

1日目：ネヘミヤ1章：1-4

1 ハカルヤの子、ネヘミヤの記録。第二十年のキスレウの月、わたしが首都スサにいたときのことである。2 兄弟の一人ハナニが幾人かの人と連れ立ってユダから来たので、わたしは捕囚を免れて残っているユダの人々について、またエルサレムについて彼らに尋ねた。3 彼らはこう答えた。「捕囚の生き残りで、この州に残っている人々は、大きな不幸の中であって、恥辱を受けています。エルサレムの城壁は打ち破られ、城門は焼け落ちたままです。」4 これを聞いて、わたしは座り込んで泣き、幾日も嘆き、食を断ち、天にいます神に祈りをささげた。

* ネヘミヤは兄弟からどのような報告を受けましたか？

* ネヘミヤはどのように反応しましたか？なぜそのような反応をしましたか？

ネヘミヤは兄弟からの報告を真剣に聞き、その厳しい現実直面した。聞き流すのではなく、座り込んで泣き、幾日も嘆き、断食し、祈った。

振り返る時間：2017年を正直に振り返ってください。

個人的な神様との関係はどうですか？あなたの家族・友人・職場での関係は正直いかがですか？夫婦関係、子供との関係、又は子供の霊的な状態は正直どうでしょう？

DP関係、小グループの兄弟姉妹とは？

この質問の答えを深く考えながら、書き出してください。ネヘミヤに倣って、今日限りにせず、今週毎日深く振り返り、今後どうしたいか考えてください。

2日目：ネヘミヤ1章：5-11

5 わたしはこう祈った。「おお、天にいます神、主よ、偉大にして畏るべき神よ、主を愛し、主の戒めを守る者に対しては、契約を守り、慈しみを注いでくださる神よ。6 耳を傾け、目を開き、あなたの僕の祈りをお聞きください。あなたの僕であるイスラエルの人々のために、今わたしは昼も夜も祈り、イスラエルの人々の罪を告白します。わたしたちはあなたに罪を犯しました。わたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。7 あなたに反抗し、あなたの僕モーセにお与えになった戒めと掟と法を守りませんでした。8 どうか、あなたの僕モーセにこう戒められたことを思い起こしてください。『もしも背くならば、お前たちを諸国の民の中に散らす。9 もしもわたしに立ち帰り、わたしの戒めを守り、それを行うならば、天の果てまで追いやられている者があるとしても、わたしは彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ場所に連れて来る。』10 彼らはあなたの僕、あなたの民です。あなたがたいなる力と強い御手をもって贖われた者です。11 おお、わが主よ、あなたの僕の祈りとあなたの僕たちの祈りに、どうか耳を傾けてください。わたしたちは心からあなたの御名を畏れ敬っています。どうか今日、わたしの願いをかなえ、この人の憐れみを受けることができるようにしてください。」この時、わたしは献酌官として王に仕えていた。

ネヘミヤは個人的な罪だけではなく、自分の国の罪、先祖の罪まで責任を取り、謙って神様に祈り、罪を告白しました。あなたは自分の罪、家族の罪の責任をとっていますか？それとも言い訳しているか、誰かのせいにしていませんか？責任を取らなければ何も変わりません。今日神様に罪の告白をして下さい。

ネヘミヤの祈りから何を学びますか？

ネヘミヤと同じように、声を出して神様に祈ってください。

3日目：ネヘミヤ章2：1-10 勇気を持って大胆に一歩めを進む

1 アルタクセルクセス王の第二十年、ニサンの月のことであった。王はぶどう酒を前にし、わたしがぶどう酒を取って、王に差し上げていた。わたしは王の前で暗い表情をすることはなかったが、
2 王はわたしに尋ねた。「暗い表情をしているが、どうかしたのか。病気ではあるまい。何か心に悩みがあるにちがいない。」わたしは非常に恐縮して、
3 王に答えた。「王がとこしえに生き長らえられますように。わたしがどうして暗い表情をせずにおれましょう。先祖の墓のある町が荒廃し、城門は火で焼かれたままなのです。」
4 すると王は、「何を望んでいるのか」と言った。わたしは天にいます神に祈って、
5 王に答えた。「もしも僕がお心に適い、王にお差し支えがなければ、わたしをユダに、先祖の墓のある町にお遣わしてください。町を再建したいのでございます。」
6 王は傍らに座っている王妃と共に、「旅にはどれほどの時を要するのか。いつ帰れるのか」と尋ねた。わたしの派遣について王が好意的であったので、どれほどの期間が必要なのかを説明し、
7 更に、わたしは王に言った。「もしもお心に適いますなら、わたしがユダに行き着くまで、わたしを通過させるようにと、ユーフラテス西方の長官たちにあてた書状をいただきとうございます。
8 また、神殿のある都の城門に梁を置くために、町を取り巻く城壁のためとわたしが入る家のために木材をわたしに与えるように、と王の森林管理者アサフにあてた書状もいただきとうございます。」神の御手がわたしを守ってくださったので、王はわたしの願いをかなえてくれた。
9 こうして、わたしはユーフラテス西方の長官のもとに到着する度に、王の書状を差し出すことができた。王はまた将校と騎兵をわたしと共に派遣してくれた。
10 ホロニ人サンバラトとアンモン人の僕トビヤは、イスラエルの人々のためになることをしようとする人が遣わされて来たと聞いて、非常に機嫌を損ねた。

* ネヘミヤは4ヶ月忍耐し、祈り続けて、ついに王様に願いを伝えました。王様に対しての申し出は命がけのものでした。

* 今恐れによって、何か実行していないことがありますか？

* あなたにとっての勇気のある第一歩とは具体的にはどのような行動ですか？

4節の短い祈りを神様は聞き、神様は王様の心に働きかけて下さいました。

今日の祈り：どうか神様、勇気と力を与えてください。・・・をする勇気をください。きっかけを与えてください。そしてあなたの力を見せて下さい。信じます。

4日目：ネヘミヤ章2：1-10 状況を把握する、深く考えながら祈る

11 わたしはエルサレムに着き、三日間過ごしてから、12 夜、わずか数名の者と共に起きて出かけた。だが、エルサレムで何をすべきかについて、神がわたしの心に示されたことは、だれにも知らせなかった。わたしの乗ったもののほか、一頭の動物も引いて行かなかった。13 夜中に谷の門を出て、竜の泉の前から糞の門へと巡って、エルサレムの城壁を調べた。城壁は破壊され、城門は焼け落ちていた。14 更に泉の門から王の池へと行ったが、わたしの乗っている動物が通る所もないほどであった。15 夜のうちに谷に沿って上りながら城壁を調べ、再び谷の門を通過して帰った。16 役人たちは、わたしがどこに行き、何をしたか知らなかった。それまでわたしは、ユダの人々にも、祭司にも、貴族にも、役人にも、工事に携わる他の人々にも、何も知らせてはいなかった。

* ネヘミヤは慌てて計画を立てずに語ったり、動いたりしませんでした。しっかり状況を考えながら、人に話す前にゆっくり神様と共に計画を練り、自分の目で確かめて、把握し、考えながら祈りました。

* 個人的な霊的な成長のため、小グループの成長のため、又は人の救いの為のアイデアを数分考えながら、アイデアを書き出してください。

今日の祈り：神様どうぞ私が考えたアイデアを祝福してください。より成功に繋がるアイデアをください。

5日目：ネヘミヤ章2：1-10 神様御自らが成功をさせてくださる

17 やがてわたしは彼らに言った。「御覧のとおり、わたしたちは不幸の中であえいでいる。エルサレムは荒廃し、城門は焼け落ちたままだ。エルサレムの城壁を建て直そうではないか。そうすれば、もう恥ずかしいことはない。」18 神の御手が恵み深くわたしを守り、王がわたしに言ってくれた言葉を彼らに告げると、彼らは「早速、建築に取りかかろう」と応じ、この良い企てに奮い立った。19 ところが、ホロニ人サンバラト、アンモン人の僕トビヤ、アラブ人ゲシムは、それを聞いてわたしたちを嘲笑い、さげすみ、こう言った。「お前たちは何をしようとしているのか。王に反逆しようとしているのか。」20 そこでわたしは反論した。「天にいます神御自ら、わたしたちにこの工事を成功させてくださる。その僕であるわたしたちは立ち上がって町を再建する。あなたたちには、エルサレムの中に領分もなければ、それに対する権利も記録もない。」

* 今まで自分の人生で見た感動的な神様の奇跡をリストアップしてください。特に祈りによって叶えられたこと。過去の祈りのリスト等ぜひ振り返ってみて下さい。

* 今年自分の人生において、小グループにおいて神様に何を成し遂げて頂き、どの様に成功させて欲しいですか？具体的に書き出してください。

今日の祈り：神様の・・・の奇跡を賛美致します。神様どうか・・・の面で成功させてください。

6 日目：ネヘミヤ 3 章：1-32、責任分担、自分の賜物、城壁の補強

1 大祭司エルヤシブは、仲間の祭司と共に羊の門の建築に取りかかり、それを奉献し、扉を付けた。次いでハンメアの塔まで、更にハナンエルの塔まで奉献した。2 その傍らにはエリコの住民が一方に、イムリの子ザクルが他方にいて建築に携わった。3 魚の門を築き上げたのはハセナアの子らである。彼らはそれを組み立て、扉と金具とかんぬきを付けた。4 彼らの傍らではハコツの孫でウリヤの子であるメレモトが補強に当たり、またその傍らではメシェザブエルの孫でベレクヤの子であるメシュラムが補強に当たり、その傍らではバアナの子ツアドクが補強に当たり、5 更にその傍らではテコアの人々が補強に当たった。しかし、その貴族たちは彼らの指導者たちの作業に服そうとしなかった。6 古い門を補強したのは、パセアの子ヨヤダとベソデヤの子メシュラムである。彼らはそれを組み立て、扉と金具とかんぬきを付けた。7 彼らの傍らでは、ギブオン生まれのメラトヤ、メロト生まれのヤドン、そしてギブオンとミツパの男子たちが補強に当たった。この二つの町はユーフラテス西方の長官の管轄下にあった。8 またその傍らでは鋳物師ハルハヤの子ウジエルが補強に当たり、その傍らでは香料調合師のハナンヤが補強に当たった。彼らは広壁までエルサレムを修復した。9 また彼らの傍らではエルサレムの半地区の区長フルの子レファヤが補強に当たり、10 また彼らの傍らではハルマフの子エダヤが補強に当たったが、それは自分の家の前であった。その傍らではハシャブネヤの子ハトシュが補強に当たり、11 ハリムの子マルキヤとパハト・モアブの子ハシュブは第二の部分を炉の塔も含めて補強した。12 その傍らでは、エルサレムの他の半地区の区長ハロヘシュの子シャルムが、その娘たちと共に補強に当たった。13 谷の門を補強したのはハヌン、それにザノアの住民である。彼らはそれを築き上げ、扉と金具とかんぬきを付けた。それに糞の門まで千アンマにわたって城壁を補強した。14 糞の門を補強したのはベト・ケレム地区の区長レカブの子マルキヤである。彼はそれを築き上げ、扉と金具とかんぬきを付けた。15 泉の門を補強したのはミツパ地区の区長コル・ホゼの子シャルンである。彼はそれを築き上げ、屋根を付け、扉と金具とかんぬきを付けた。また王の庭園にあるシェラの池の壁を、ダビデの町から下ってくる階段まで補強した。16 続いて、ベト・ツル半地区の区長アズブクの子ネヘムヤはダビデの墓地の前まで、次いで貯水池まで、更に兵舎まで補強した。17 続いて、レビ人が補強に当たり、バニの子レフムの傍らではケイラ半地区の区長ハシャブヤが、自分の区域で補強に当たった。18 続いて、彼らの兄弟が補強に当たり、ケイラの他の半地区の区長ヘナダドの子バワイ19 の傍らでは、ミツパの長イエシュアの子エゼルが第二の部分を、城壁の角の武器庫の上り道の前で補強した。20 続いて、ザバイの子バルクが第二の部分を城壁の角から大祭司エルヤシブの家の入り口まで熱心に補強した。21 続いて、ハコツの孫でウリヤの子であるメレモトが第二の部分をエルヤシブの家の入り口からその家の端まで補強した。22 続いて、盆地の男子である祭司たちが補強に当たり、23 続いて、ビンヤミンとハシュブが自分の家の前を補強した。続いて、アナネヤの孫でマアセヤの子であるアザルヤが自分の家のそばを補強し、24 続いて、ヘナダドの子ビヌイが第二の部分をアザルヤの家から城壁の角まで、および城壁の突端まで補強した。25 ウザイの子パラルは、城壁の角の前と、上の王宮から出ていて警護の庭のそばにある塔を補強した。続いて、パルオシュの子ペダヤは、26 オフェルには神殿の使用人が住んでいたのだが、東の水の門の前までその突き出た塔も含めて補強に当たり、27 続いて、テコアの人々が第二の部分をその突き出た大きな塔の前からオフェルの城壁まで補強した。28 馬の門の上からは、祭司たちがそれぞれ自分の家の前を補強

し、29 続いて、イメルの子ツアドクが自分の家の前を補強した。続いて、東の門の守衛シェカンヤの子シェマヤが補強し、30 続いて、シェレムヤの子ハナンヤとツアラフの六男ハヌンが第二の部分で補強した。続いて、ベレクヤの子メシュラムが自分の収納庫の前を補強し、31 続いて、鋳物師マルキヤがミフカドの門の前にある神殿の使用人と商人の家まで、また城壁の突端の階上まで補強した。32 城壁の突端の階上から羊の門までの間は、鋳物師と商人が補強した。

- * 城壁は多くの人の貢献によって建てられ、補強されました。今あなたはどのように神の御国に貢献していますか？あなたはどのような賜物を持っていますか？書き出してみてください。自分の賜物をどのように最大限に御国のために活かされたいか、誰かに伝えてください。又は親しい友人に聞いてみて下さい。
- * 自分のミニストリーや教会全体を見渡して、「脆い」と思う部分がありますか？もしあるとしたらどのようにその脆い部分を補強するために貢献できますか？

今日の祈り：自分の賜物が最大限に御国に使われる様に、教会の脆い部分が強められるように。

7日目：ネヘミヤ3章：33-38, 反対や迫害を乗り越える

33 サンバラトは、わたしたちが城壁を建てていると聞いて怒り、激しく憤慨した。ユダの人々を嘲笑い、34 彼は仲間とサマリアの兵士を前にして言った。「この哀れなユダの者どもに、何ができるか。修復していけにえをささげるつもりなのか。一日で仕上げようとでもいうのか。灰の山から焼け石を拾い出して、生かして使おうとでもいうのか。」35 アンモン人のトビヤはそばから言った。「できたとしても、そんな石垣など、狐が登るだけで崩れてしまうだろう。」36 わたしたちの神よ、お聞きください。このように辱めを受けているのです。彼らの投げつける侮辱が彼ら自身の頭上に降りかかり、捕らわれの身となって異国で辱めを受けるようにしてください。37 その悪を赦さず、その罪を御前から消し去らないでください。彼らは再建に励む者を嘲っています。38 わたしたちは城壁の再建を始め、その全長にわたって高さの半分まで築いた。民には働く意欲があった。

- * 主のために働こうと思った時に、反対や迫害にあったことはありましたか？どのような嫌な言葉を言われましたか？その言葉にどのように影響されましたか？
- * ネヘミヤは迫害を祈りで乗り越えました。ネヘミヤは迫害に対して、どのように神様に祈りましたか？

迫害者や非協力的な人に対して、ネヘミヤと同じ様な祈りを書き出し、声を出して祈ってください。最後に・・・ 38 わたしたちは城壁の再建を始め、その全長にわたって高さの半分まで築いた。民には働く意欲があった。

神様がネヘミヤの祈りに答え、民に働く意欲を下さいました。

たとえ一生懸命働き、努力してもゴールの半分までしか至らないことがあります。神様の助けがなければ神様のための偉業は完成することができません。忍耐し祈り続けましょう。

ネヘミヤ書 QT シリーズ

<二週目：ネヘミヤ4章～6章>

1日目：ネヘミヤ4章：1-8, ユダの落胆とネヘミヤのリーダーシップ

1 サンバラトとトビヤ、それにアラブ人、アンモン人、アシュドドの市民は、エルサレムの城壁の再建が進み、破損の修復が始まったと聞いて、大いに怒った。2 彼らは皆で共謀してエルサレムに攻め上り、混乱に陥れようとした。3 わたしたちはわたしたちの神に祈り、昼夜彼らに対し、彼らから身を守るために警戒した。4 しかし、ユダもこう言うのだった。「もっこを担ぐ力は弱り／土くれの山はまだ大きい。城壁の再建など／わたしたちにはできません。」5 わたしたちの敵はこう言っていた。「気づかれず、見つからないように侵入し、彼らを打ち殺して、工事をやめさせよう。」6 彼らの近くに住むユダの人々がやって来て、十度もわたしたちに、「あなたたちが戻ると、あらゆるところからわたしたちは攻められます」と言った。7 そこでわたしは城壁外の低い所、むき出しになった所に、各家族の戦闘員を、剣と槍と弓を持たせて配置した。8 わたしは見回して立ち、貴族や役人やその他の戦闘員に言った。「敵を恐れるな。偉大にして畏るべき主の御名を唱えて、兄弟のため、息子のため、娘のため、妻のため、家のために戦え。」

- * 神様のための働きをする時にはサタンも働きます。あなたは難しいことが起こった時にそのことを霊的に理解しますか。一步踏み出そうとした時に試練や困難、また批判や理解を得られない状況に遭遇した時に、あなたはそこからどのように神様に近づき答えをもらいますか。それとも、不安や恐れ、人の目や難しい状況に支配され不信仰になってしまいませんか。
- * ネヘミヤは祈りで戦いました。祈りによって神様から答えをいただき、それを具体的な行動に起こしました。ここでは、「昼夜彼ら（敵）に対し、彼らから身を守るために警戒した。」と書かれています。
- * 身内の中からも恐れからくる不信仰、またネガティブな言葉が出てきました。ユダの人々は十度もネヘミヤに嘆きながら厳しい状況を訴えました。ネヘミヤはこの事態にどう対応したでしょうか。
- * ネヘミヤは厳しい状態にあるユダの人々に対してただ話を聞いて共感するだけではありませんでした。信仰を持って具体的な対応策を神様からいただき、彼らに動機を与え、戦い続けるように説得しました。

今日の祈り：サタンの攻撃を見分け、試練や困難に遭っている兄弟姉妹を強められる信仰と適切で具体的な対応を取れるリーダーシップを与えてください。

2日目：ネヘミヤ4章：9-17、信仰、知恵、そして行動

9 わたしたちが気づき、神がその計略を破られたことを敵が知ったので、わたしたちは皆、城壁に戻り、それぞれ自分の作業に就いた。10 その日からわたしの部下たちは、半分が作業に従事し、他の半分が槍と盾、弓と鎧を身に着け、将校たちがユダの家全体の背後に控えた。11 城壁を築く者、もっこを担いで運ぶ者は、一方の手で作業をし、もう一方の手には投げ槍を取った。12 建築作業をする者は、各自腰に剣を帯びて作業した。わたしはそばに角笛を吹く者をつけた。13 わたしは貴族と役人と他の戦闘員に言った。「仕事が多く、範囲は広い。わたしたちは互いに遠く離れて城壁の上に散らばっている。14 角笛の音を聞いたら、わたしたちのもとに集まれ。わたしたちの神はわたしたちのために戦ってくださる。」15 夜が明けてから星が現れるころまでわたしたちは作業に就き、部下の半分は槍を手にしていて。16 このころわたしは戦闘員に言った。「各自、自分の部下と共にエルサレムの城壁内で夜を過ごしなさい。夜は警備に当たり、昼に仕事をしよう。」17 わたしも、兄弟も、部下の者も、わたしに従う警備の者も、わたしたちはだれも、服を脱がずにいて、各自投げ槍を右の手にしていて。

- * 作業を継続するために役割分担を明確にしました。敵の攻撃から民と城壁を守る役割、作業を進める役割、全体を見て指揮をする役割がありました。あなたは、神様の再建の働きの中でどの役割を現在担っていますか。
- * 城壁を建てる作業と敵の攻撃から身を守ること、そのどちらも大切な役割でした。作業だけでも守りだけでも城壁を建て上げることはできません。あなたは城壁を建て上げるために何をしていますか。また、何ができると思っていますか。
- * 役割や能力の違いはあっても、全員が共に作業をして戦いました。あなたの小グループは全員が同じ目的を持って戦い励ましあっていますか。

今日の祈り：私の小グループでの役割、そして、これからできることを教えてください。小グループ内の兄弟姉妹全員心を一つにして城壁の再建ができるように助けてください。

3日目：ネヘミヤ5章：1-9、問題、罪と悔い改め

1 民とその妻たちから、同胞のユダの人々に対して大きな訴えの叫びがあがった。2 ある者は言った。「わたしたちには多くの息子や娘がいる。食べて生き延びるために穀物がほしい。」3 またある者は言った。「この飢饉のときに穀物を得るには畑も、ぶどう園も、家も抵当に入れなければならない。」4 またある者は言った。「王が税をかけるので、畑もぶどう園も担保にして金を借りなければならない。」5 同胞もわたしたちも同じ人間だ。彼らに子供があれば、わたしたちにも子供がある。だが、わたしたちは息子や娘を手放して奴隷にしなければならない。ある娘はもう奴隷になっている。どうすることもできない。畑とぶどう園はもう他人のものだ。」6 この嘆きと訴えを聞いて、わたしは大いに憤りを覚え、7 居たたまれなくなって貴族と役人をこう非難した。「あなたたちは同胞に重荷を負わせているではないか。」わたしはまた大きな集会を召集して、8 言った。「わたしたちは異邦人に売られていた同胞のユダの人々を、できるかぎり買い戻した。それなのに、あなたたちはその同胞を売ろうというのか。彼らはわたしたち自身に売られることになるのに。」

彼らは黙りこみ、何も言えなかった。9 わたしは言った。「あなたたちの行いはよくない。敵である異邦人に辱められないために、神を畏れて生きるはずではないのか。

- * 民の間の問題、罪が明らかになりました。あなたの小グループで個人の問題や罪は明らかになっていませんか。それに対しネヘミヤはどのように対処しましたか。
- * ネヘミヤは神様の教えに確信を持って問題や批難を避けずに対処しました。相手が貴族、役人であろうと罪を指摘し真実を語りました。あなたは人の反応や人からの評価以上に神様を畏れ、真実を愛して生きていますか。

今日の祈り：霊の家族の中で問題がある時また罪がある時に、どうか避けずにあなたに頼り真実を語ることができますように。あなたのために自分自身を守らず、兄弟姉妹を悔い改めに導くための愛と勇気を与えてください。

4日目：ネヘミヤ5章：10-13, 悔い改めの模範

10 わたしも、わたしの兄弟も部下も金や穀物を貸している。わたしたちはその負債を帳消しにする。11 あなたたちも今日あなたたちに負債のある者に返しなさい。畑も、ぶどう園も、オリーブ園も、家も、利子も、穀物も、ぶどう酒も、油も。」12 彼らはそれに答えた。「返します。何も要求しません。お言葉どおりにします。」わたしはこの言葉どおり行うよう誓わせるために祭司たちを呼んだ。13 わたしはまた衣の折り重ねたところを振るいながら言った。「この約束を守らない者はだれでも、このように神によってその家と財産から離され、振るい落とされるように。このように振るい落とされて無一物となるように。」会衆は皆で、「アーメン」と答え、神を賛美した。民はその言葉どおり行った。

- * ネヘミヤは貴族と役人を厳しく指摘するだけでなく、自分自身が先ず具体的な悔い改めを示し、模範となりました。神様の前に自らへりくだり、熱心に悔い改める心を神様は祝福してくださる確信がありました。
- * あなたには自分の権利や利益よりも神様の城壁の再建（教会の悔い改めと霊的成長）を優先する心がありますか。

今日の祈り：熱心で具体的な悔い改めを通して、自分の利益や居心地良さよりも神様の栄光を求める心を与えてください。それはイエス・キリストにも見られる心です。どうか私の心を変えてください。

5日目：ネヘミヤ5章：14-19, リーダーシップの杯

14 アルタクセルクセス王の第二十年に、わたしはユダの地の長官に任命されたが、その日から第三十二年までの十二年間、わたしも兄弟たちも長官の給与を一度も受け取らなかった。15 わたしの前任者は民に重荷を負わせ、パンとぶどう酒に加えて、銀四十シケルを徴収した。彼らの配下の者も民を圧迫した。しかし、わたしは神を畏れ、そのようなことを決して行わなかった。16 わ

たしはこの城壁の工事にも力を注ぎ、土地を買収したりはしなかった。配下の者も皆、工事のためにここに集まっていた。17 ユダの人々と役人合わせて百五十人、それに周りの国々から来た人々も、わたしの食卓に着いた。18 毎日用意されたものは、牛一頭、特選の羊六匹、鳥で、わたしのために用意され、十日ごとにはあらゆる種類のぶどう酒が十分用意された。だが、このためにも長官の手当を要求しなかった。再建作業がこの民にとって重荷となっていたからである。19 神よ、わたしがこの民に尽くしたすべてのことを快く心に留めてください。

- * ネヘミヤは城壁再建のために経済的な犠牲を自ら払いました。自分の当然の権利を要求せず民が城壁再建に心を向けられるようにしました。ネヘミヤのそのような決意と行動は神様を畏れる心から来ています。
- * お金の使い方によって人は本当の心が明らかにされることがあります。ネヘミヤは自分に与えられているものは全て神様から来ていることを深く理解していました。あなたの献金に対する姿勢、お金の使い方は神様を畏れる心を反映していますか。必要であれば、信頼できる人にも相談してみましよう。

今日の祈り：ネヘミヤのような神様を畏れる心を与えてください。お金に対する執着、偶像礼拝があればそれを明らかにして、悔い改めに導いてください。

6日目：ネヘミヤ6章：1-9, 敵からの間違った情報に立ち向かう

1 サンバラト、トビヤ、アラブ人ゲシム、その他わたしたちの敵は、わたしが城壁を再建し、崩れた所が一つとして残らず、あとは城門に扉を付けるだけだということを耳にした。2 サンバラトとゲシムはわたしのもとに使者をよこして、「オノの谷にあるケフィリムで会おう」と言った。彼らはわたしに危害を加えようとたくらんだのであった。3 そこでわたしは使者を送って言わせた。「わたしは大きな工事をしているので、行けません。中断して出かけたのでは、どうして工事が終わるのでしょうか。」4 彼らは同じことを四度も言ってきたが、わたしも同じように返事を繰り返した。5 五度目にサンバラトは、配下の者を同じ言葉をもってわたしのもとによこしたが、その手には開封の手紙があった。6 そこには、こう書かれていた。「あなたとユダの人々は反逆を企てていると、諸国のうわさにもなっているし、ガシムも言っている。城壁を建てているのはそのためであろう。あなたはユダの人々の王になろうとしているということだ。7 また、あなたはあなたのことを宣言する預言者をエルサレムに立てて、ユダの王だと言わせているそうだ。今このうわさは、王のもとに届こうとしている。早速相談しようではないか。」8 そこでわたしは返事を送った。「あなたの言うことは事実と反する。あなたの勝手な作り事だ。」9 彼らは皆、わたしたちの手が弱り、工事は完成しないだろうと言って、わたしたちに恐怖を与えている。神よ、今こそわたしの手を強くしてください。

- * 敵は間違った情報を持って城壁の再建を妨げようとします。あなたは間違った情報、間違った声を耳にする時にどのように対処しますか。
- * ネヘミヤは敵の策略を見抜くことができました。それはなぜでしょうか。

今日の祈り：敵（サタン）の様々な策略を見抜く力を与えてください。霊的な城壁の再建のためにフォーカスがずれないように助けてください。

7日目：ネヘミヤ6章：10-19,成し遂げるための戦い

10 わたしが、メヘタブエルの孫でデラヤの子であるシェマヤの家に行くと、彼は閉じこもっていた。彼は言った。「神殿で会おう、聖所の中で。聖所の扉を閉じよう。あなたを殺しに来る者がある。夜、あなたを殺しにやって来る。」11 しかし、わたしは言った。「わたしの立場にある者は逃げることはできない。わたしのような者で、聖所に入って、なお生き長らえることのできる者があるか。わたしは入らない。」12 彼は神が遣わした者ではなく、トビヤとサンバラトに買収されてわたしに預言したのだということをわたしは悟った。13 なぜ彼を買収したのか。それはわたしが恐怖心から彼らの言いなりになって罪を犯せば、彼らはそれを利用してわたしの悪口を言い、わたしを辱めることができるからである。14 わが神よ、トビヤとサンバラトのこの仕業と、わたしを脅迫した女預言者ノアドヤや他の預言者たちを覚えていてください。15 城壁は五十二日かかって、エルルの月の二十五日に完成した。16 わたしたちのすべての敵がそれを聞くに及んで、わたしたちの周囲にいる諸国の民も皆、恐れを抱き、自らの目に大いに面目を失った。わたしたちの神の助けによってこの工事がなされたのだということを悟ったからである。17 そのころ、ユダの貴族は頻りにトビヤに手紙を送り、トビヤの手紙も彼らに届いていた。18 ユダの多くの人は彼と互いに誓約を交わす関係にあったからで、トビヤはアラの子シェカンヤの娘婿であり、トビヤの子ヨハナンはベレクヤの子メシュラムの娘をめぐっていた。19 彼らはわたしの前ではトビヤへの賛辞を述べ、トビヤにはわたしの言葉を密告した。トビヤはわたしに脅迫の手紙をよこした。

- * 城壁の完成を目前にし、敵は最後の総攻撃をしかけてきました。外からの攻撃と味方からのもっともらしい誘惑です。ネヘミヤは祈りによって神様の計画を阻むためにあなたに向けられている攻撃や誘惑を見抜きました。
- * ネヘミヤは城壁の完成に向けて、自分が最も攻撃と誘惑を受ける立場であることを受け入れその覚悟をしていました。あなたが覚悟する必要があることは何でしょうか。
- * 神様は、あなたの信仰を通して神様の計画を実現したいと思っています。神様の計画が実現するために、あなたはどのように祈りによって戦いますか。
- * ついに城壁は完成しました。しかし、それで終わりではありませんでした。霊的な戦いは続きます。
- * ネヘミヤの戦いは続きます。城壁が再建されて満足することなく、更に神様の栄光を求めて戦います。自己満足は自分の思いに満たされるところから来ます。神様の栄光を求める人は絶えず努力を続ける人です。

今日の祈り：どうか私が自分の満足ではなく、絶えず神様の栄光を求め努力と戦いを続ける力を与えてください。

ネヘミヤ書 QT シリーズ

<三週目：ネヘミヤ7章～9章、城壁完成後、イスラエルの復興、再建>

1日目：ネヘミヤ7：1-3、城壁の完成後、神の民の再建1

城壁が築かれたので、わたしは扉を取り付けさせた。そして、門衛と詠唱者とレビ人を任務に就けた。わたしは、兄弟のハナニと要塞の長ハナンヤにエルサレムの行政を託した。このハナンヤは誠実で、だれよりも神を畏れる人物だった。わたしは彼らに言った。「日射しの暑くなる時まで、エルサレムの門を開いてはならない。また彼らが任務に就いている間に扉を固く閉ざしなさい。エルサレムの住民に守備態勢を取らせ、各自が自分の持ち場と、各自が自分の家の前を守るようにせよ。」

城壁が完成しても、ネヘミヤの果たすべき役割は終わることがありませんでした。ネヘミヤはただ城壁を完成させることをゴールにはしていませんでした。イスラエルの人々が神様の前で正しく生きていくことを考えていました。神殿と城壁を守るために、適切な人材、リーダーシップを配置し、適切な指示を出しました。ネヘミヤは物理的な再建とともに、神の民の霊的さの復興・再建のためにも細く心を尽くしました。

- * あなたが神様から与えられている役割の最終的なゴールは何でしょうか？
- * わたしたちの「再建」のために、やり残していることは何でしょうか？
- * 具体的な実践を書き出して、実行してください。

2日目：ネヘミヤ7：4-7 2、城壁完成後、神の民の再建2

町は二方向に大きく広がっていたが、その中に住む民は少数で、家屋は建てられてはいなかった。わたしは心に神の指示を受けて、貴族と役人と民を集め、家系に従って登録させようとしたところ、最初に帰還した人々の名簿を発見した。そこには次のように記録されているのを発見した。（7：4-5）……..祭司、レビ人、門衛、詠唱者、民の一部、神殿の使用人、すなわちイスラエル人は皆それぞれ自分たちの町に住んだ。（7：7 2）

民の長たちはエルサレムに住んでいた。ほかの民はくじを引き、十人のうち一人が聖なる都エルサレムに来て住み、残りの九人が他の町々にとどまるようにした。民は、進んでエルサレムに住むすべての人々を祝福した。（参照11：1-2）

城壁の完成後、ネヘミヤが取り組んだもうひとつのプロジェクトは、イスラエルの人々をエルサレムの町の中に住ませることでした。何年もの間、城壁が再建されずに町は荒廃していたため、人々はそれぞれ自分たちの町に住んでいました。エルサレムの町の中は家屋も少なく、住む人はほとんどいませんでした。おそらく誰も住みたいとは思わない状況であったと思われます。しかし、ネヘ

ミヤは神様から指示を受け、民の一部を町の中に住ませました。イスラエルの復興・再建のためには、人々がエルサレムに住み、神殿を守っていく必要がありました。11章から分かるのは、このことによって民の一致が進み、イスラエルの霊的さの再建が前進しました。

- * ネヘミヤはこのことにおいても神様に頼って実行しました。今あなたは神様から指示を受けたものはあるでしょうか？
- * 荒廃した町に人々を住ませることは難しいプロジェクトであったと思われます。今あなたには、難しいけれども取り組むべきことはありますか？
- * 自分の小グループ、教会が一致し、霊的さが前進するために、取り組めることは何かあるでしょうか？

3日目：ネヘミヤ8：1-8、律法の朗読

民は皆、水の門の前にある広場に集まって一人の人のようになった。彼らは書記官エズラに主がイスラエルに授けられたモーセの律法の書を持って来るように求めた。祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かって、夜明けから正午までそれを読み上げた。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。書記官エズラは、このために用意された木の壇の上に立ち、その右にマティトヤ、シェマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが、左にペダヤ、ミシャエル、マルキヤ、ハシュム、ハシュバダナ、ゼカルヤ、メシュラムが立った。エズラは人々より高い所にいたので、皆が見守る中でその書を開いた。彼が書を開くと民は皆、立ち上がった。エズラが大いなる神、主をたたえると民は皆、両手を挙げて、「アーメン、アーメン」と唱和し、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。

城壁完成の翌月、イスラエルの民の前で律法が朗読されました。イスラエルの再建のためには神の言葉を聞き、理解することが不可欠でした。この時までには人々の心は整えられ、一致があり、自分たちから神様の言葉を求める態度がありました。そこでネヘミヤは適任者であるエズラに律法の朗読の役割を任せました。数時間に及ぶ朗読にもかかわらず、人々は熱心に耳を傾け、丁寧な翻訳や解説によって、その意味を理解しました。イスラエルは再び自分たちの国で主を礼拝する民となりました。

- * イスラエルの再建のために神様の言葉は不可欠でした。あなたの御言葉に対する態度はどのようなものでしょうか？
- * 神様の言葉を求めたのは、ネヘミヤやエズラからではありませんでした。何によって人々の心は御言葉を求めるように整えられたのでしょうか？
- * ネヘミヤは城壁の再建でも、この場面でも、神様の栄光を現すために、人々に役割と責任を委

ねる賢さと靈的成熟さを持っていたことを見ることができます。なぜネヘミヤはそのように行動できたのでしょうか？あなた自身に適應できることはあるのでしょうか？

* あなたの主を礼拝する態度・心はどのようなものなのでしょうか？

4日目：ネヘミヤ8：9-12、主を喜び祝うことこそ、力の源

総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。彼らは更に言った。「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えのない者には、それを分け与えてやりなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」レビ人も民全員を静かにさせた。「静かにしなさい。今日は聖なる日だ。悲しんではならない。」民は皆、帰って、食べたり飲んだりし、備えのない者と分かち合い、大いに喜び祝った。教えられたことを理解したからである。

律法の言葉を聞いたイスラエルの人々は、皆涙を流しました。御言葉によって、再び主を礼拝するものに戻れたことに心を動かされたのかもしれませんが、これまでの荒廃や労苦、苦難を思い出していたのかもしれませんが。同時に、いかに自分たちの罪がひどかったか、いかに神様から離れていたかを思い知らされたことでしょう。しかし、ネヘミヤとエズラはそこで終わりにはしませんでした。その日は聖なる日として、人々が喜び祝うことを励ましました。自分たちの心が動かされるだけでなく、この時こそ神様を見て、神様を喜び祝うことを勧めました。主の喜び、主を喜び祝うことこそ、神の民の力の源であるからです。

* イスラエルの人々は、御言葉に反応する素直な心を持っていました。何によって彼らはそのような心を持つことができたのでしょうか？

* ネヘミヤとエズラは人々が神様を見て、主を喜び祝うように強く勧めました。神の民の力の源が、自分たちではなく、主を礼拝することにあることを理解していました。あなたは、自分の心が動かされて終わるのではなく、最終的に神様を喜び祝うことに、どれほどこだわっているのでしょうか？また何によって、主を喜び祝うことができるようになるのでしょうか？

* あなたがより主を喜び祝うことができるように取り組めることは何でしょうか？

5日目：ネヘミヤ8：13-18、仮庵祭

二日目に、すべての民の家長たちは、祭司、レビ人と共に書記官エズラのもとに集まり、律法の言葉を深く悟ろうとし、主がモーセによって授けられたこの律法の中にこう記されているのを見いだした。イスラエルの人々は第七の月の祭りの期間を仮庵で過ごさなければならず、これを知らせ、エルサレムとすべての町に次のような布告を出さなければならない。「山に行き、オリーブの枝、野生オリーブの枝、ミルトスの枝、なつめやしの枝、その他の葉の多い木の枝を取って来て、書き

記されているとおりに仮庵を作りなさい。」民は出て行き、枝を持って来て、各自の家の屋上、庭、神殿の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場に仮庵を作った。こうして捕囚の地から帰った人々から成る会衆は、皆で仮庵を作り、そこで過ごした。ヌンの子ヨシュアの時代からこの日まで、イスラエルの人々がこのような祝いを行ったことはなかった。それは、まことに大きな喜びの祝いであった。最初の日から最後の日まで、毎日彼は神の律法の書を朗読し、彼らは七日間にわたって祭りをを行い、八日目には定めに従って終わりの集会を行った。

二日目に、民のリーダーたちはより深く御言葉を理解しようと再びエズラの元に集まってきました。そこで第七の月には仮庵祭が行われるべきであることを見出しました。仮庵祭は神の民がエジプトから導き出され40年間荒野でテント(仮庵)暮らしをしたことを覚える祭りでした(レビ記23:34-43参照)。それはわたしたちがこの地上で仮住まいであること、さらにはキリストが地上に住まわれたこと(ヨハネ1:14参照)を示すものであるとも言われています。イスラエルの人々は御言葉にある通りに忠実に仮庵祭を行い、神様を喜び祝いました。神の民の喜びと霊的さは確実に増していきました。

6日目：ネヘミヤ9：1-37、イスラエルの悔い改め1

その月の二十四日に、イスラエルの人々は集まって断食し、粗布をまとい、土をその身に振りかけた。イスラエルの血筋の者は異民族との関係を一切断ち、進み出て、自分たちの罪科と先祖の罪悪を告白した。彼らは自分の立場に立ち、その日の四分の一の時間は、彼らの神、主の律法の書を朗読して過ごし、他の四分の一の時間は、彼らの神、主の前に向かって罪を告白し、ひれ伏していた。

(9：1-3) ……ところが、わたしたちの先祖は傲慢にふるまい／かたくなになり、戒めに従わなかった。聞き従うことを拒み／彼らに示された驚くべき御業を忘れ／かたくなになり／エジプトの苦役に戻ろうと考えた。(9：16-17a) ……律法に立ち帰るようと／あなたは彼らに勧められたが／彼らは傲慢になり、御命令に耳を貸さず／あなたの法に背いた。これを守って命を得るはずであったが／彼らは背を向け、かたくなになり／聞き従おうとしなかった。長い年月、あなたは忍耐し／あなたの霊を送り／預言者によって勧められたが／彼らは耳を貸さなかったので／諸国の民の手に彼らを渡された。(9：29-30) ……しかし、わたしたちはあなたに背いてしまいました。王も高官も、祭司もわたしたちの先祖も／あなたの律法に従わず／度重なる命令にも戒めにも／耳を貸しませんでした。あなたがお与えになった／国と豊かな恵みの中にありながら／あなたがお与えになった／広く肥沃な土地にありながら／彼らはあなたに仕えようとはせず／不正と悪行を改めようとはしませんでした。(9：33b-35)

イスラエルの霊的さが大きく再建され始めたことによって、その次に起こったことは人々の大きな悔い改めでした。その日、人々は一日中御言葉を聞き、罪を告白し、主を礼拝しました。9章全体が人々の告白となっています。霊的さの再建のために悔い改めは不可欠でした。イスラエルの悔い改めにおいて、彼らの告白の中には、まず彼らの罪を心から認める態度がありました。彼らは先祖

の罪、自分の罪を真摯に認め、告白しました。言い訳をせず、ただ神様に背き、逆らい、従わなかった事実を受け止めました。

- * 霊的さが再建されることによってイスラエルに大きな悔い改めが起きました。何によってそれが起こったのでしょうか？
- * 何によって、イスラエルの人々は自分たちの罪を認めることができたのでしょうか？
- * ネヘミヤ記を学びながら、自分の霊的再建において見せられた罪は何でしょうか？書き出して、ぜひ神様と周りの兄弟姉妹に告白をしてください。

7日目：ネヘミヤ9：1-37、イスラエルの悔い改め2

あなたは天からシナイの山に降って彼らと語り／正しい法、真実の律法／優れた掟と戒めを受け、あなたの聖なる安息日を布告し／僕モーセによって／戒めと掟と律法を受けられた。彼らが飢えれば、天からパンを恵み／渴けば、岩から水を湧き出させ／必ず与えると誓われた土地に行って／それを所有せよと命じられた。(9：13-15) ……しかし、あなたは罪を赦す神。恵みに満ち、憐れみ深く／忍耐強く、慈しみに溢れ／先祖を見捨てることはなさらなかった。彼らが牛の像を鋳て造り／エジプトから救ってくれた神だと称し／背信の大罪を犯したときもまことに憐れみ深いあなたは／彼らを荒野に見捨てることはなさらなかった。昼は雲の柱を取り去ることなく行く手を示し／夜は火の柱を取り去ることなく／行く道を照らされた。(9：17b-19) ……しかし、まことに憐れみ深いあなたは／彼らを滅ぼし尽くそうとはなさらず／見捨てようとはなさらなかった。まことにあなたは恵みに満ち、憐れみ深い神。(9：31) ……あなたは正しく行動されました。あなたは忠実に行動されました。しかし、わたしたちはあなたに背いてしまいました。(9：33)

イスラエルの悔い改めにおいて、もうひとつ彼らが覚えたことは、神様の性質でした。彼らは告白の中で、いかに神様が憐れみ深く、正しく、忠実な方であるかを表しました。自分たちの罪に比べて、どれほど神様ご自身が神の民に手を伸ばし、気にかけて、忍耐し、憐れみを施し、見捨てることがなかったのか、彼らは覚え、告白しました。真の悔い改めは最終的に神様に戻ることでした。彼らは神様を覚え、主を礼拝しました。それこそが神の民の力の源となりました。

- * イスラエルの民は何によって神様の性質を覚えることができたのでしょうか？
- * 神様があなたに与えてくださってきたもの、して下さってきたことは、どのようなものがあるのでしょうか？ぜひ書き出してみてください。
- * 神様の性質を覚えるために取り組めることは何でしょうか？

ネヘミヤ書 QT シリーズ

<四週目：ネヘミヤ 10 章～13 章>

1 日目：ネヘミヤ 10 章 29-30 節 制約に立ち返る

29 そのほかの民、祭司、レビ人、門衛、詠唱者、神殿の使用人、この地の民と関係を断って神の律法のもとに集まったすべての者も、妻、息子、娘、また理解できる年齢に達したすべての者と共に、30 そのまことに貴い兄弟たちに協力するものであり、神の僕モーセによって授けられた神の律法に従って歩み、わたしたちの主、主の戒めと法と掟をすべて守り、実行することを誓い、確約するものである。

*城壁完成の後、モーセの律法の朗読（8 章）と罪の告白（9 章）を行い、その後、皆で制約した。

*民たちは城壁の完成で終わりではなく、これから神様との間での制約を守る事を誓った。

*今までイエスの弟子としてどのような誓い・約束を神様と個人的にしてきましたか？大きな決断、バプテスマ、結婚、子供の誕生、父親決意表明式等を思い出し、書き出してみてください。

*2018 年、どんな時でも直ぐにあなたが立ち返る神様との制約・約束は何ですか？家族や近い兄弟姉妹にそれを共有して下さい。

2 日目：ネヘミヤ 10 章 31-40 節 神殿をおろそかにしない

31 わたしたちは、娘をこの地の民に嫁がせず、彼らの娘をわたしたちの息子の嫁にしない。32 わたしたちは、この地の民が安息日に商品をはじめ、いかなる種類の穀物を持って来て売ろうとしても、安息日と他の聖なる日には買わない。わたしたちは、七年ごとに耕作を休み、あらゆる負債を免除する。33 わたしたちは、神殿での奉仕のために年に三分の一シェケルの納入を義務として負う。34 それは供え物のパンのため、日ごとの穀物の献げ物のため、日ごとの焼き尽くす献げ物のため、安息日、新月祭、祝祭日のため、奉納物のため、イスラエルの罪を贖う贖罪の献げ物のため、すなわち神殿におけるすべての務めのためである。35 わたしたち祭司、レビ人および民は、薪の奉納についてくじを引いた。律法に書き記されているように、毎年定められた時に、神なる主の祭壇の上で燃やし、各家族が順番に薪をわたしたちの神殿に納めるためである。36 わたしたちは、地の産物の初物とすべての果実の初物を、毎年主の神殿にささげ、37 わたしたちの息子の長男も、わたしたちの家畜の初子も、律法に書き記されているところに従ってささげる。わたしたちの牛と羊の初子は神殿に携え、神殿の中で仕える祭司のためにささげる。38 最初の小麦粉、礼物、あらゆる種類の果実、新しいぶどう酒および油を祭司のために神殿の祭司室に納める。地の産物の十分の一はレビ人のために納める。このレビ人は、わたしたちが働くすべての町でその十分の一を受け取る。39 レビ人がその十分の一を受け取る時には、アロンの子である祭司がレビ人に付き添っていなければならない。レビ人はその十分の一の更に十分の一を、わたしたちの神殿のためにその収納庫の祭司室に持って行かなければならない。40 イスラエルの人々とレビ人各人が穀物と新しいぶどう酒と油の礼物を納めるのはその祭司室であるからで、そこは、聖所用の祭具類があり、任

務をもつ祭司、門衛、詠唱者がいるところである。わたしたちは決してわたしたちの神殿をおろそかにしません。

*さまざまな捧げものが神殿に納められました。一つ一つの捧げものは各家族や個人が持ってきたものだと思います。それぞれが違うものでした。

*あなたが教会のために捧げられるものは周りの人とは違うものかもしれませんが、同じでなくても良いです。

*あなたが教会や小グループのために捧げられるものはなんでしょうか？ ノートに書き出してください。あなたの小グループに共有しましょう。

*喜んで捧げるのを躊躇させる想いがありますか？望んでないにも関わらず結果的に神殿をおろそかにしていないでしょうか。ノートに書き出し、信頼する兄弟姉妹からアドバイスをもらいましょう。

3日目：ネヘミヤ11章：1-2節 再建の為の召命と確信

1 民の長たちはエルサレムに住んでいた。ほかの民はくじを引き、十人のうち一人が聖なる都エルサレムに来て住み、残りの九人が他の町々にとどまるようにした。2 民は、進んでエルサレムに住むすべての人々を祝福した。

*エルサレムに元々住んでいた民の長たちを除き、3つの民のグループがありました。くじで選ばれて移住した人たち、自ら移り住んできた人たち、そして他の町や村に残っている人たちでした。

*あなたの教会再建への召命と確信は正直にどうでしょうか？人からの強制や周りに流されていますか？あなたは近くにいながら何もしない無責任な民ですか？それとも召命をプロセスして自分の確信にしていますか？

*誰かがやってくれるという態度では再建する事はないでしょう。

*あなたにとって教会を再建するのに少しでも多く貢献できる行動は何でしょうか？

4日目：ネヘミヤ12章27-47節 喜び祝う

27 エルサレムの城壁の奉獻に際して、人々は、あらゆる所からレビ人を求め、エルサレムに来させて、感謝の祈りと、シンバルや堅琴や琴に合わせた歌をもって、奉獻式と祝典を行おうとした。

28-29 詠唱者たちは、それぞれエルサレム周辺の盆地、ネトファ人の村々、ベト・ギルガルおよびゲバやアズマベトの田舎などから集まって来た。詠唱者たちは、エルサレムの周辺に村を作って住んでいた。29-30 祭司とレビ人は身を清めたうえで、民と城門と城壁を清めた。31 わたしは、ユダの長たちを城壁に上らせ、二つの大きな合唱隊を編成した。一隊は城壁の上を右へ、糞の門に向かって進んだ。32 その後ろに、ホシャヤおよびユダの長たちの半数が続き、33 またアザルヤ、エズラ、メシュラム、34 ユダ、ビンヤミン、シェマヤ、イルメヤ、35 ラッパを持った祭司たち、次にゼカルヤが続いた。その父はヨナタン、祖父はシェマヤ、更にマタンヤ、ミカヤ、ザクル、アサフとさかのぼる。36 更に彼の仲間シェマヤ、アザルエル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニが、神の人ダビデの楽器を持って行進に続いた。書記官エズラは彼らの前を行

った。37 泉の門に来ると、彼らはその前にあるダビデの町への上り坂を上がり、城壁に上って、ダビデの家の上を過ぎて東の水の門に来た。38 他の一隊は左に向かった。わたしは他の半数の人々と共に彼らに続いた。一行は城壁の上を行き、炉の塔から広壁、39 エフライムの門から古い門、魚の門、ハナンエルの塔、ハンメアの塔から羊の門まで進み、警備の門で止まった。40 こうして二隊は、神殿の中に立ち、わたしも役人の半数と共にそこにいた。41 ラッパを手にした祭司はエルヤキム、マアセヤ、ミンヤミン、ミカヤ、エルヨエナイ、ゼカルヤ、ハナンヤ。42 更にマアセヤ、シェマヤ、エルアザル、ウジ、ヨハナン、マルキヤ、エラム、エゼルは詠唱者として歌い、イズラフヤが彼らの監督であった。43 その日、人々は大いなるいけにえを屠り、喜び祝った。神は大いなる喜びをお与えになり、女も子供も共に喜び祝った。エルサレムの喜びの声は遠くまで響いた。44 その日、礼物と初物と十分の一の供出物を蓄える収納庫の監督が任命された。こうしてそこに、律法が定めているように、祭司とレビ人の生活の糧を、町々の耕地から徴集して納めた。実にユダの人々は、祭司とレビ人の働きを喜んでいて。45 祭司とレビ人は神への務めと清めの務めを守り、詠唱者と門衛はダビデとその子ソロモンの定めによく従った。46 ダビデとアサフがいた昔の時代のように、詠唱者の頭がいて、神への賛美と感謝の歌をつかさどった。47 ゼルバベルの時代とネヘミヤの時代のイスラエルの民は皆、毎日詠唱者と門衛に生活の糧を提供した。また、レビ人には奉納物を与え、レビ人はその奉納物をアロンの子らに分け与えた。

*エルサレムの城壁が完成し、それを神様に納める事ができた時、人々はその喜びの声が遠くまで響くほどに喜び祝いました。男性だけでなく女性も子供も共に喜びました。歌を歌い、楽器を演奏し、感謝の祈りをしました。

*10 分間集中して、あなたのいままでの人生で神様が成し遂げてくださった事を思い出しノートに書き出してください。

*書き出した出来事に際してあなたは十分に喜び祝えているでしょうか。もし不十分だと感じるなら、大いにお祝いする時間を持ってください。

5 日目: ネヘミヤ 13 章: 4-9 節 霊的なクリーニングアップ

4 これに先立って、トビヤに縁のある祭司エルヤシブは、神殿の祭司室を任されていたが、5 かつて人々が穀物の献げ物と香と祭具、またレビ人と詠唱者と門衛のための、規定による十分の一の穀物と新しいぶどう酒と油、更に祭司のための礼物を納めることになっていたその大きな祭司室をトビヤのために流用した。6 その時わたしはエルサレムにいなかった。バビロンの王アルタクセルクセスの第三十二年にわたしは王のもとに行っていたからである。やがて王の許しを得て、7 エルサレムに帰り、エルヤシブがトビヤのために神殿の庭にある収納庫を流用して、そのために行った悪事を知った。8 わたしは非常に憤り、その祭司室からトビヤ家の器具類をすべて外に投げ出し、9 その祭司室を清め、そこに再び神殿の祭具と穀物の献げ物と香を納めることを命じた。

*ネヘミヤは献酌官として仕事に復帰する事になり、彼がエルサレムを不在にしている間に民は早速 10 章の制約から離れ、妥協から生じる罪がエルサレムに蔓延していた。

*大祭司エルヤシブは城壁の再建と工事を中断させようとネヘミヤを批判し攻撃したトビヤを神

殿内に大きな部屋をあてがおうとしていた。

*ネヘミヤのこのような悪や罪をどのように処置したでしょうか？あなたにはネヘミヤのように悪を大目に見ず、真っ向から妥協せずに対応していますか？

*あなたはあなた自身、家族、小グループの中からネヘミヤのように追い出したい悪や罪はありませんか？

6日目：ネヘミヤ 13章 4-31節 なぜ神殿を見捨てられたままにしておくのか

9 その祭司室を清め、そこに再び神殿の祭具と穀物の献げ物と香を納めることを命じた。10 またわたしは、レビ人に与えられるはずのものが与えられず、務めに就いていたレビ人と詠唱者が、それぞれ自分の耕地に逃げ帰っているのを知った。11 わたしは役人を責め、なぜ神殿を見捨てられたままにしておくのかと言った。わたしはレビ人と詠唱者を集め、務めに就かせた。12 こうしてユダの人々が皆、十分の一の穀物と新しいぶどう酒と油を貯蔵室に持って来た。13 わたしは、祭司シェレムヤ、書記官ツアドク、レビ人ペダヤに貯蔵室の管理を命じ、マタンヤの孫でザクルの子、ハナンを彼らの助手とした。彼らは忠実な人物とされており、仲間に分配する任務が彼らにゆだねられた。14 わたしの神よ、それゆえわたしを心に留め、神殿とその務めのために示した、わたしの真心を消し去らないでください。15 またそのころ、ユダで、人々が安息日に桶の中でぶどうを踏み、穀物の束をろばに負わせて運んでいるのを、わたしは見た。また、ぶどう酒、ぶどうの実、いちじく、その他あらゆる種類の荷物も同じようにして、安息日にエルサレムに運び入っていた。そこで、彼らが食品を売っているその日に、わたしは彼らを戒めた。16 ティルス人もそこに住み着き、魚をはじめあらゆる種類の商品を持ち込み、安息日に、しかもエルサレムで、ユダの人々に売っていた。17 わたしはユダの貴族を責め、こう言った。「なんという悪事を働いているのか。安息日を汚しているではないか。18 あなたたちの先祖がそのようにしたからこそ、神はわたしたちとこの都の上に、あれほどの不幸をもたらされたのではなかったか。あなたたちは安息日を汚すことによって、またしてもイスラエルに対する神の怒りを招こうとしている。」19 そこで、安息日の始まる前に、エルサレムの城門の辺りが暗くなってくると、わたしはその扉を閉じるように命じ、安息日が過ぎるまでそれを開けないように言いつけた。そしてわたしの部下をその門の前に立たせ、安息日には荷物が決して運び込まれないようにした。20 そのため、取り引きする人やあらゆるものを売る人が、エルサレムの外で夜を過ごすことも一度ならずあった。21 わたしは彼らを戒めて、「なぜ城壁の前で夜を過ごすのか。繰り返すならば、お前たちを処罰する」と言った。そのとき以来、彼らは安息日には来なくなった。22 またわたしはレビ人に、身を清めて門を守り、安息日を聖とするように命じた。わたしの神よ、このことについてもわたしを心に留め、あなたの大きいなる慈しみによって、わたしを憐れんでください。23 またそのころ、ユダの人々がアシュド人やアンモン人やモアブ人の女と結婚していることが、わたしに分かった。24 その子供たちの半数は、アシュドドの言葉あるいはそれぞれの民族の言葉を話し、ユダの言葉を知らなかった。25 わたしは彼らを責め、呪い、幾人かを打ち、その毛を引き抜き、神にかけて誓わせた。「お前たちの娘を彼らの息子の妻にしてはならない。彼らの娘をお前たちの息子の妻に、またはお前たちの妻にしてはならない。26 イスラエルの王ソロモンすらも、このようにして罪を犯したのではなかったか。数ある諸国の中でも彼のような王はおらず、神に愛され、神によってすべてのイスラエルの

王に立てられた、その彼でさえ、異民族の妻たちによって罪に引き込まれてしまった。27 わたしたちの神に逆らって異民族の女と結婚するという、この大きな罪悪を犯したということをお前たちについても聞かされなければならないのか。」28 大祭司エルヤシブの孫でヨヤダの子の一人が、ホロニ人サンバラトの娘婿となっていた。わたしは、彼を遠く追放した。29 わたしの神よ、祭司職を汚し、祭司とレビ人の契約を汚した者のことを覚えていてください。30 わたしはすべての異民族から彼らを清め、祭司とレビ人に守るべき務めを定め、それぞれその任務に就かせました。31 また定められた時に薪を奉納し、初物をささげるように決めました。わたしの神よ、わたしを御心に留め、お恵みください。

*ネヘミヤはエルサレムに戻ってきたときに、イスラエルの民が妥協している姿を見て激怒し、あらゆる罪を追い出しました。

*あなたはこのイスラエルの民を見てどう思いますか。名前が出てくるエルヤシブやトビヤは罪の自覚がありながらも妥協していったかもしれません。ですが、ここに出てくる名もない人たちは自覚があったのでしょうか。もしかしたら、ネヘミヤに言われて初めて気づけたのかもしれません。罪の恐ろしさは時に自分では気づくことができないことです。周りの人が罪を犯していても、自分がしていても、気づける「目」がなければ、取り除くことはできません。

*あなたの実生活を知っている兄弟姉妹は居ますか？信頼する兄弟姉妹に時間をとってあなたの日々のスケジュールや習慣、家族関係、QTの取り方、霊的状态をチェックしてもらいましょう。

*チェックをしてもらう人と時間を決めましょう。

7日目：ネヘミヤ6章：15節 まとめ

15 城壁は五十二日かかって、エルルの月の二十五日に完成した。

*あなたにとって、このネヘミヤQTシリーズはいかがだったでしょうか。学びが一時的なものにならないように振り返り、フォーカスし続けられるようにしましょう。

*あなたはがこのネヘミヤQTシリーズを通して一番学んだ事は何ですか？

*一番学んだ箇所から聖句を決めてメモに書き、よく見る場所に貼って覚えましょう。

*このQTシリーズを通して、あなたは神様に何を期待しますか？